

令和5年度第1回嘉麻市地域包括ケアシステム推進会議

日時 令和6年3月21日(木) 10:00～

場所 委員会室2

出席者

委員

副市長(○) 福祉事務所長兼社会福祉課長(○) 高齢者介護課長(○)
子育て支援課長(○) 健康課長(○) こども育成課長(○)
生活支援課長(○)

関係課長

総務課長(○) 防災対策課長(○) 産業振興課長(欠)
交通政策課長(○) 市民課長(○)

事務局

高齢者介護課・市民課職員
地域ケア会議活動支援アドバイザー
嘉麻市社会福祉協議会
(生活支援コーディネーター5名)

1. 嘉麻市地域包括ケアシステム推進会議委員長挨拶

2. 議題

①地域包括ケアシステム推進会議について

高齢者介護課課長補佐・・・資料より事業説明

②地域ケア会議での活動について

地域ケア会議活動支援アドバイザー・・・資料より活動報告

③第2層協議体での活動について

嘉麻市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター・・・資料より活動報告

3. 質疑応答・意見交換

【福祉事務所長兼社会福祉課長】

活動報告のなかで、地域共生社会の実現に向けての話があったが、生活支援体制整備事業については、地域共生社会の実現に向けた土台になるものだと位

置づけている。生活支援体制整備事業の目標については、地域包括ケアシステム、地域で支える互助体制の構築が目標になるのではないかとと思われる。これに向けてのゴールという言葉もでていたが、ゴールは地域の互助体制の構築、またゴールというのはその時期、時代に応じましてレベルアップしていかなければならないと思われるので、ゴールというのは継続していくものではないかと考えている。嘉麻市の現状が見えにくいことやどのように体制を作っていけばうまく構築できるのか疑問があると思うので、先進地等があれば、行政と一緒に先進地視察が実施できればと考えている。

権利擁護と重層的支援体制整備について、嘉麻市ではとの話があったが、権利擁護については、現在、嘉麻市では随時課題に対し、関係各課にて対応している状況であり、嘉麻市における中核機関としては、確立していない状況である。今後解決すべき案件として認識している。

重層的支援体制整備について、現在、重層的支援体制は整っていないが、個別案件において関係各課、関係者（高齢者、健康課、子育て支援課、サービス事業所等）を集めたケース会議を行い、諸問題の課題解決を行っている状況である。

【総務課長】

行政区でも高齢者、後期高齢者が多いところでは、地域の活動がなかなかままならないという地域がたくさんあることを聞いている。65歳以上が41%を超えて、そのうち53%ぐらいが後期高齢者となると、自分の暮らしを守っていくことが生活の中心となり、それを地域活動にどうつなげていくということは非常に難しい問題であると感じている。現在、市では地域コミュニティ形成会議を実施し、行政区だけでもうまくいかない、公民館活動だけでもうまくいかない、地域コミュニティとしてもどのように考えていけばいいのかということを考えているところであるが、先進地等を視察するにあたって、見守りをどうするのか、防災をどうするのか、この二つがポイントではないかということが、先進地の視察を行った結果であった。いろいろなことができるエネルギーを多くの地域がなくしている状況で、どのように関わっていけばよいかというなかで、令和6年度より、小さな拠点ソフト事業を活用したアドバイザーの設置を進めているところである。

また、地域の関わりの中なかで、どのように関わっていけばよいかというところの部分については、再度内部で協議していきたいと思う。

行政区と嘉麻市のつながりの部分を含めて、どう加入者を増やしていくのかという問題についても、代表者会を通じて協議していきたいと思う。

【交通政策課長】

オリジナルバス新聞の作成等、公共交通の利用促進にご協力いただいていると思うが、活動報告の中なかで協議体の活動がその場限りになっているというお話があった。報告になるが、実績として、オリジナルバス新聞や出前講座の開催等をしていただいたことで、今まで利用者がいなかったバス停で利用者が増えてきている状況が実態としてある。我々としても成果が見え、出前講座等をしてきたことが実を結んでいると感じていることを報告させていただきたい。

昨年度、バス停のベンチの件で、今後設置していきたいと報告させていただいたと思うが、令和5年度は10か所のバス停にベンチの設置を行った。設置要件として利用者が1,000人以上のバス停で、道路の許認可等の占用許可がおりる場所という制限はあるが、設置要件を満たすところには設置を進めている状況である。令和6年度においても、予算措置で20か所設置できる程度の予算を確保しているので、令和6年度においても設置要件等を満たしているところについてはベンチの設置を進めていきたいと思う。

4. その他

嘉麻市地域包括ケアシステム推進会議（第1層協議体）の開催回数、外部委員の任命について意見交換。

【事務局】

・開催回数について

事務局としては、年間を通して第2層協議体の活動が行われていること。また、半年間毎に課題等を取りまとめていくことが難しいことから、基本的には年1回の開催とし、今後は出た課題に対して対応がしやすいよう開催時期を、現在の年度末から、新年度予算を作成する前の9月～10月頃に変更してはどうかと考えている。

・外部委員の任命について

事務局としては、現在、第2層協議体の業務を外部団体である社会福祉協議会に委託しており、第2層協議体の市民目線の課題と、そこから見えてくる外部団体としての意見を社会福祉協議会で取りまとめ、現在の第1層協議体で検討しているため、現在の形のままでもよいのではないかと考えている。

(事務局案に意見なし)

【議長】

事務局からの説明もあったが、その内容でいいかというのは引き続き検討していただきたい。